



= デフリンピックを応援しよう! =



質問： デフリンピックとは聴覚障害の方が対象の総合スポーツ世界大会で、次回大会は2021年です。朝霞市にはデフリンピック日本代表に選ばれたデフバドミントンの選手が男女お二人います。デフリンピックは知名度が低いため、企業団体のスポンサーがほぼありません。そのため、大会への海外遠征費や合宿費、そして用具などの自己負担が大きいのしかかっていると、ご本人から声をいただきました。ぜひこの機会に企業様などから協力いただけると嬉しいです。市として、デフリンピックや選手への応援を。



答弁： オリンピック・パラリンピックと比べると、市民の皆さんの認知度は高くないと考えられますので、まずはスポーツ施策として障害者施策として、それぞれの所管課による対応を促すと共に、市のシティープロモーションの観点からも様々な媒体を活用し情報発信に努めます。

= 聴覚障害者災害時支援用バンダナ =

質問： 最近では、見えない障害や病気のある方に対し「ヘルプマーク」の配布をしていることから、様々な障害の方々に安心していただけるよう災害備蓄品の見直しや更新を要望。

現在備蓄しているバンダナを希望者に配布するなど有効活用を提案します。

答弁： 聴覚障害のある当事者からバンダナ配布の要望が寄せられていることは承知しており、購入についてもこれまで検討してまいりましたが、現時点では購入予定はありません。今後、現在備蓄しているバンダナの一部を活用することについて考えてまいります。

ヘルプマーク



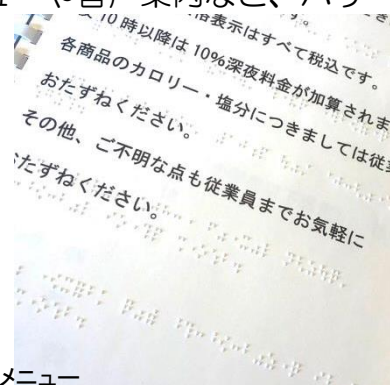
聴覚障害者災害時
支援用バンダナ

= バリアフリー物品購入等補助金 =

質問： 飲食業や小売業などの店舗が、手すりやスロープ、点字メニューや音声案内など、バリアフリー工事と物品購入等補助金について、障害者差別解消法の強化、推進の観点から、これまで、粘り強く訴えてきました。この度オリンピック・パラリンピック事業で予算化されたことは嬉しい。

そこで、物品購入に関しては、障害者支援施設の作業所などから購入するような仕組みができないか。

答弁： 補助事業を実施する際に物品等の製作活動を行なっている障害者施設への紹介については、今後要綱を整備する際に併せて検討していきたい。



点字メニュー